

# カント批判哲学における影響関係

形式論理学、観念論から量子力学、AIまで  
伊野 連 著

本書は、イマヌエル・カントの哲学が現代に与える影響を探求する。カントの哲学は形而上学から倫理学まで多岐にわたり、本書では無限判断論や超越論的統覚論などの重要概念を解説する。

さらに、現代自然科学との関連も探求し、新たな問題提起も行う。カント研究の入門書としても、深化を図る上級者の参考書としても適した一冊。



## ◆目次

### 第Ⅰ部 無限判断論

第1章 カント『純粹理性批判』「無限判断」について / 第2章 カント『純粹理性批判』の「無限判断」と「無限」をめぐる誤解 / 補章 アリストテレス推理式の、カントによる応用について

### 第Ⅱ部 哲学的構想力論

第3章 カントの構想力論 / 第4章 フィヒテの構想力論 / 第5章 シェリングの構想力と知的直観

### 第Ⅲ部 超越論的統覚論

第6章 ハイデガーによるカント批難の是非 / 第7章 フッサールによるカント批難

### 第Ⅳ部 反省概念論

第8章 カント『純粹理性批判』における超越論的反省概念

### 第Ⅴ部 カント哲学と現代物理学

第9章 相対論・量子力学による物理学革命と哲学的図式論 / 第10章 量子力学と哲学 / 第11章 AI／ロボットの倫理と哲学

Chapter 12 A Debate Between Physicists and a Philosopher Over Kant

Chapter 13 Philosophy and Ethics of AI/Robots

## ◆著者紹介

伊野 連 (いの れん)

1968年生まれ。東京出身。早稲田大学第一文学部哲学専修卒業。東洋大学大学院文学研究科哲学専攻博士後期課程単位取得満期退学。論文博士（文学、東洋大学）。

哲学・倫理学・美学専攻。早稲田大学等講師、三重大学人文学部特任教授を経て、現在、静岡文化芸術大学ならびに慈恵看護専門学校講師。

主な著書に、『ドイツ近代哲学における藝術の形而上学——カント、シェリング、ヤスパースと「哲学のオルガン」の問題』（リベルタス出版、2012年）、『現代美学の射程』（三恵社、2015年）、『哲学・倫理学の歴史』（同、2016年）、『生命の倫理 入門篇』（同、2016年）、『図説 芸術論の諸相』（同、2018年）、『看護学生のための医療倫理』（共著、丸善出版）、Kulturkonflikte und Kommunikation. Zur Aktualität von Jaspers Philosophie/Cross-Cultural Conflicts and Communication. Rethinking Jaspers's Philosophy Today（共著、Könighausen & Neumann）など。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	伊野 連 [著] <b>カント哲学における影響関係</b> —形式論理学、観念論から量子力学、AIまで— 330頁/A5判/ソフトカバー 定価3,000円(税別) ISBN978-4-86693-873-8 C3010
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		